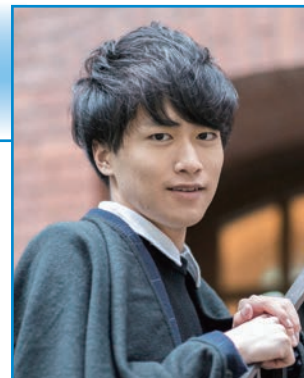


機械学習を用いたSNS向けテロップ自動生成

大峠 和基

おおたお

かずき



《略歴》

- 1996年 広島県生まれ
- 2017年 徳山工業高等専門学校情報電子工学科卒業
- 2017年 筑波大学情報学群情報メディア創成学類入学
- 2017年 ビクシーダストテクノロジー株式会社入社
- 2019年 筑波大学情報学群情報メディア創成学類卒業
- 2019年 筑波大学大学院図書館情報メディア研究科図書館情報メディア専攻入学
- 2020年 ビクシーダストテクノロジー株式会社退職

《所属》※ 2020年5月現在

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科 博士課程前期

テーマ概要 //

本プロジェクトでは、スマートフォンで簡単にテロップを作ることができるモバイルアプリケーション「telorain」を開発した。

開発したアプリでは、動画を選択するだけでテロップが自動で生成され、必要に応じてユーザが編集を加えることができる。また、Social Networking Service(SNS)向けの多彩なテーマを用意した。開発したアプリによって、動画編集の技術がない非クリエイターでも気軽に動画にテロップを付けることができる。



五十嵐 PM の評価 //

本プロジェクトでは、テロップ生成のためのモバイルアプリ「telorain」を開発した。テロップ作成の行程を自動化するアルゴリズムを考案し、ユーザが編集しやすいインターフェースを開発した。また、100人以上のユーザにβ版を配布し、ユーザインタビューを経ることで実際に使ってもらえるモバイルアプリを目指した。大峠氏は発話区間検出・話者分離・形態素解析などの技術検証、サーバサイドの開発、iOSクライアントの開発を担当した。関連論文を読んでそれが実際に使える技術かどうか

を実装してテストをし、本当に必要な技術を取捨選択した上で取り入れていった。また、サーバサイドのAPIサーバやデータベース環境の構築を担当し、森氏と協力してモバイルアプリとして整えていった。開発中はユーザの声をなるべく取り入れるため、β版の配布やユーザインタビューにも力を入れていた。ユーザインタビューではすべてのユーザの声を取り入れるのではなく、本プロジェクトの方針をその都度検討し、機能をそぎ落とすことで、誰でも簡単に使える満足度の高いアプリにすることを常に忘れずにプロジェクトを進めた。こういったプロジェクトをひたばっていき力に加え、プログラミング能力、およびプロジェクトを伝えるプレゼンテーション能力も評価したい。今後もリーダーとしてプロジェクトをひたばっていきことのできる人材である。以上のことから、スーパークリエイターとして認めるに値すると判断する。

近況メッセージ //

・開発成果の近況、展開方針、今後の目的など

現在、開発成果はtelorain.comにてβ版という形で配布しています。未踏終了後もユーザーヒアリングを継続して行っており、機能の改善に努めています。今後は、セキュリティやインフラを整えた上で、2020年度中に正式版公開を目指しています。

・近況

未踏事業内で提案したアルゴリズムをより深く研究していくために、4月から大学院の研究室を移りました。新しい研究室でアルゴリズムの多言語化や学会発表に向けた準備をしています。アプリ自体の開発も未踏期間中の勢いのままです。公開を楽しみにして頂けたらと思います。

関連 URL //

成果物 : <https://telorain.com>本人のサイト : <https://kazukiotao.com>